

プロスキーヤー・三浦雄一郎さん宅で稼働開始
世界初のLPガス仕様家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「ENEOS ECO LP-1」

記者各位

当社(社長:渡 文明)は、本年3月1日から商品化を開始した世界初のLPガス仕様家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「ENEOS ECO LP-1」について、6月6日(月)の女優・高樹沙耶さん宅の設置に引き続き、6月13日(月)プロスキーヤーの三浦雄一郎さん宅に設置完了し、システムが稼働開始いたしましたので、お知らせいたします。

三浦雄一郎さんからのコメント:

「ヒマラヤなど、空気が希薄で人類が生き延びることが難しい所で暮らしていると、これが地球の未来を象徴しているように感じます。これからの地球環境を見据え、二酸化炭素(CO2)をできる限り排出しないシステムの開発は人類にとって必要不可欠です。

環境に与える負荷が少ない家庭用燃料電池もいよいよスタートということで、国・企業・社会全体で理解や普及が進むことを願っており、ENEOS ECO LP-1に期待しています。」



ベースキャンプの屋上で稼働を開始したENEOS ECO LP-1
(プロスキーヤー三浦雄一郎さんと当社常務取締役 松村幾敏)

1. ENEOS ECO LP-1について

エネルギー問題や環境問題への関心が高まるなか、クリーンエネルギーの主役として期待がかかる家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP-1」は、LPガスから水素を取り出し酸素と反応させ電気を作ると同時に、熱を発生させるコージェネレーションシステムです。総合エネルギー効率が76%と高く、また、温暖化ガスの大半をしめる二酸化炭素(CO2)の排出量を大幅に削減することに加え、大気汚染や酸性雨の原因となる硫黄酸化物(SOx)や窒素酸化物(NOx)をほとんど排出しない「環境対応型エネルギーシステム」であります。本年2月から一般募集を開始したところ、これまでに200件以上ものお問い合わせをいただきました。2005年度は、関東1都10県を中心に150台設置する予定です。

2. 三浦雄一郎さん宅へのENEOS ECO LP-1設置について

今回ENEOS ECO LP-1が設置されるのは、本年2月都内にオープンしたばかりのご自宅兼トレーニング施設「MIURAベースキャンプ」。三浦さんご自身が75歳を迎えてエベレストにチャレンジする施設であり、子供から大人まで様々な人が夢に向かってチャレンジする拠点となります。

この「MIURAベースキャンプ」には、世界でも数少ない低酸素室と高酸素室を備え、酸素濃度をコントロールしながら、効率よく酸素を取り込むプログラムが行われており、世界を目指す、他の登山家やアスリートのトレーニングも行われています。

これから、「MIURAベースキャンプ」の電気やお湯をこのシステムでまかなう予定です。

今後はエッセイストの玉村豊男氏、冒険家の風間深志氏などがENEOS ECO LP-1の設置を予定しています。



三浦さんファミリーのベース・キャンプ



低酸素室と高酸素室を備えるトレーニングルーム

以上

ご参考

三浦雄一郎(みうら・ゆういちろう) プロフィール



1964年イタリア・キロメートルランセに日本人として初めて参加、時速172.084キロの当時の世界新記録樹立。1966年富士山直滑降。1970年エベレスト・サウスコル8,000m世界最高地点スキー滑降(ギネスブック掲載)を成し遂げ、その記録映画[THE MAN WHO SKIED DOWN EVEREST]はアカデミー賞を受賞。1985年世界七大陸最高峰のスキー滑降を完全達成。2003年世界最高年齢でエベレスト登頂成功。アドベンチャー・スキーヤーとしてだけでなく、行動する知性人として国際的に活躍中。

URL: <http://www.snowdolphins.com/>



三浦雄一郎さん宅の屋上に設置・稼動開始したENEOS ECO LP-1

ENEOS ECO LP-1 製品概要

1. ENEOS ECO LP-1の仕様

| | |
|-------------|-----------------------------------|
| (1) 定格発電容量 | 750W |
| (2) エネルギー効率 | 発電効率34%(LHV*1) 熱回収効率42%(LHV*1) |
| (3) 貯湯槽容量 | 200リットル |
| (4) 燃料 | LPガス |

※1 LHV: Lower Heating Valueの略称。低位発熱量。燃料の持つ発熱量から、燃料の燃焼によって生じる水蒸気の凝縮潜熱を差し引いた発熱量のこと。



左:発電ユニット 幅1.0m 高1.0m 奥行0.45m
右:貯湯ユニット 幅0.75m 高1.9m 奥行0.44m

お問い合わせ

| | |
|---------------------|-----------------------------|
| ニュースリリースに関するお問い合わせ先 | 広報部広報グループ 03-3502-1124 |
| 製品に関するお問い合わせ先 | FC事業1部FC企画グループ 03-3502-9243 |